



10月から12月にかけて、国際性育成プログラム、国際交流の日、サイエンスダイアログが開催されました！

(1)国際性育成プログラムとは？

- 令和6年度は10月中旬から12月のMerakiの授業内で開催されました。
- 自分の研究について英語で話したりやり取りをすることで、科学に対する興味関心、英語によるコミュニケーション能力、国際性を高めるのを目的にしたプログラムです。
- 研究についての口頭発表のため、アカデミックな英語でのコミュニケーション能力の向上を目指します。

Meraki I・II

●自分達が関心を持つテーマについてリサーチクエスチョンを立て、仮説・実験・検証を行う。

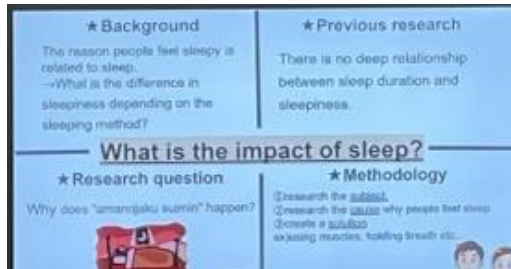
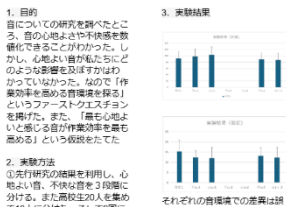
2年夏休み

●各班がこれまでの研究について、3分程度の英語でプレゼンテーションとスライドの準備をする。

2年10月～12月

●各分野に分かれて英語によるプレゼンテーションを行い、ALTの先生からフィードバックをもらう。

作業効率を高める音環境



(2)国際交流の日とは？

- 11月6日（水）に、姉妹校である国立新竹高級中学校の生徒約60名と、先生方と保護者の皆さんが多摩高校を訪れ、両校の生徒たちが交流しました。
- 国際社会で活躍する科学的リテラシーを備えたグローバルリーダーを育成することを目的に、午前中の全校生徒による歓迎セレモニー終了後は、1年生の各クラスで交流をし、午後は2年生の国際交流係を中心に多摩高校近隣の生田緑地を案内しながら交流しました。
- 英語で台湾からの高校生とも交流できるように、日常的なコミュニケーション能力の向上を目指します。

〈事後アンケート結果〉

外国の方と話す上でやってよかったと思うことは自分が興味あることについて積極的に聞くことです。…相手の国のことについて聞くほうが相手も沢山話してくれて会話が弾んで良かったです。

私自身が日本文化についてあまり知らないことを実感し、もっと知りたいと思いました。



(3)サイエンスダイアログとは？

- 最先端の研究について英語で講義や質疑応答を行い、生徒の科学的な思考力・判断力を高め、学術研究における国際的な視野を養います。12月17日に早稲田大学理工学術院 Yihua Tang 博士に「工学系科学・反応工学およびプロセスシステム工学」について実験と講義をしていただき、30名を超える生徒が参加しました。

